

2024年3月9日（土）、第18回日本統計学会春季集会（会場：成城大学）にて、企画セッション[生存時間解析・イベントヒストリー分析]を行いました。本セッションは、日本統計学会誌の52巻2号（2023年3月発刊）に出版された特集号[生存時間解析・イベントヒストリー分析]の中から5名の著者に講演を頂いた企画です。対面形式で発表を行いました。



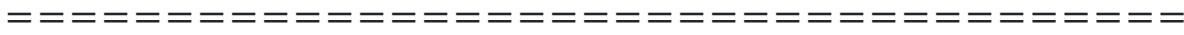
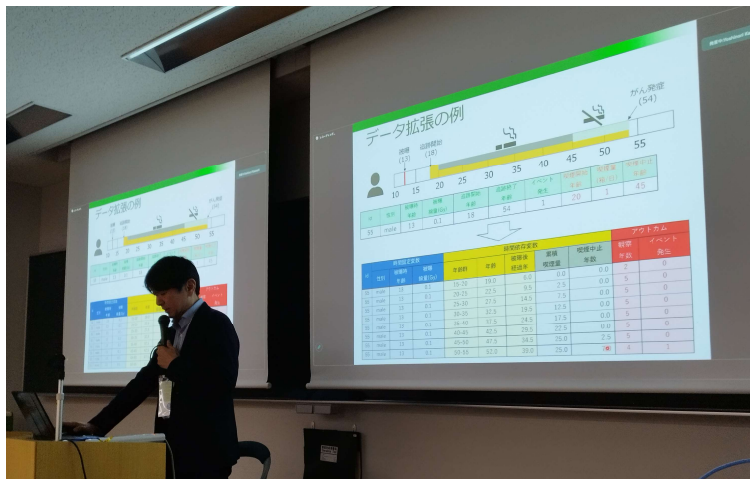
左から、杉本（滋賀大）・太田（神奈川大）・武富（久留米大）・水間（武田薬品工業）・江村（統数研）・古川（久留米大）・道前（北里大）

セッション PM-B「生存時間解析・イベントヒストリー分析」

13:45～15:25 3号館2階321教室 Zoom B

オーガナイザー・座長：江村剛志（統計数理研究所）

講演1：古川恭治（久留米大学）「一般化線形混合効果モデルによる生存時間分析」



講演 2: 道前洋史(北里大学)

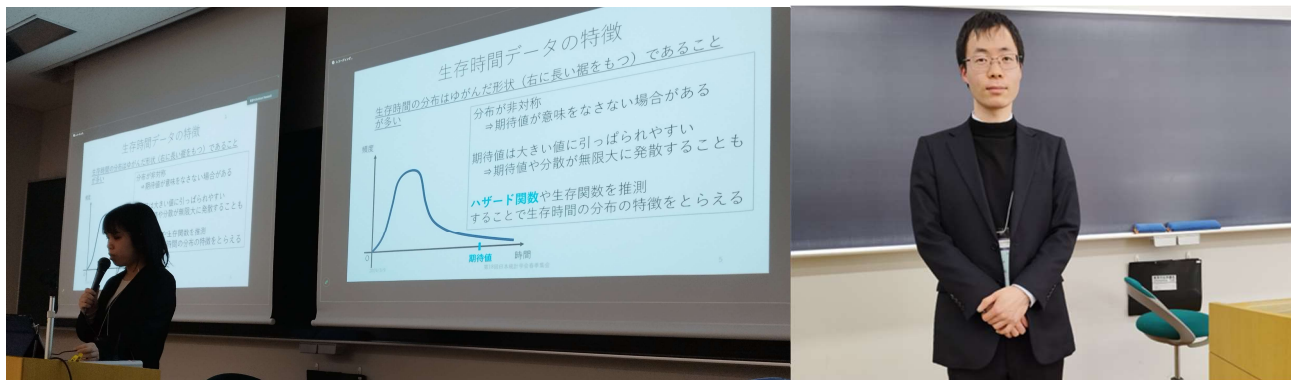
↓「競合リスクを伴う左側切断・右側打ち切りデータの解析～現状と今後の展望について～」



講演 3: 水間浩太郎(武田薬品工業)「計算代数統計を用いたログランク検定」↑



↓講演 4: 武富奈菜美(久留米大学)「生存時間解析・信頼性解析のための統計モデル」



講演 5: 太田修平(神奈川大)↑

「多変量 Farlie-Gumbel-Morgenstern コピュラを用いた信頼性解析」



※動画を期間限定で会員向けに YouTube の学会公式チャンネルで公開予定です。

文責：江村剛志 (統計数理研究所)